

アル・アクサ洪水第494日目：ネタニヤフ首相が停戦妨害で非難される中、アブドゥッラー二世がトランプ大統領と会談

Palestine Chronicle、2015年2月11日、脇浜義明訳 *脚注は訳注



パレスチナ人の家族は、占領下のヨルダン川西岸地区の自宅から強制退去させられている。(Photo: QNN)

主要事項

- *イスラエルの極右政治家イタマル・ベン・グヴィルは停戦を拒否してガザ攻撃を再開しようと呼びかけた。
- *イスラエル人質の家族集団はネタニヤフが捕虜交換を行き詰まらせ、停戦を潰そうとしているとして、ネタニヤフ首相に抗議している¹。

最新情報

2月12日 5:41am (パレスチナ時間)

*ヨルダン・メディア：ヨルダン王室は「アブドゥッラー2世国王と米国のトランプ大統領は西岸地区、エルサレム、ガザの状況と展望について協議した」と発表し、国王はこれ以上状況の悪化を防ぐ必要を強く述べたと付言した。さらに、王室声明は、国王が病気や癌で苦しむガザのパレスチナ人子ども2000人をヨルダンの病院で治療したいとトランプに言ったのは、ヨルダンのガザへの人道的支援の一部であると述べた。

2月12日 5:37am

*パレスチナ・メディア：イスラエル占領軍は追加の増援部隊を西岸地区のジェニン難民キャンプに向けて展開した。占領軍は1月21日からずっとジェニン市とジェニン難民キャンプで軍事行動を展開、後にはそれをトゥルカレムとトゥーバに拡大した。

¹ ネタニヤフは合意の第二段階の実施を、ハマス武装解除、ハマス指導部の外国への移住などの注文をつけて、遅らせている。この政治的行き詰まりの中、イスラエル軍はハーン・ユーニスへの艦砲射撃など、停戦違反を行っている。ハマスはイスラエルが停戦違反しているので、15日に釈放予定の人質の手渡しを追って通知するまで引き延ばすと宣言。トランプは15日正午までに全人質が解放されないならば停戦の破棄を呼びかけると述べた。

2月12日 2:46am

*レバノン国首相ナワフ・サラーム:ガザ住民をエジプトとヨルダンに移住させるのは現実離れした考えである。アラブの連帯が強くなってそんな計画を止め、実行を防ぐであろう。唯一の解決策はアラブ和平イニシアチブ²、二国家解決案、パレスチナ人の自決権の実現である。

*米・メディア、CNN:フランスのマクロン大統領は、米のトランプ大統領のガザに関する提案に応じて、ガザの再建は人民と諸国家をモノのように軽々しく扱うことではないと、CNNに語った。彼は200万人の人々に今すぐ移住せよと命ずることはできないと述べ、正しいやり方は不動産取引ではなく、政治的なやり方であると強調した。

*SNS:パレスチナ人ジャーナリストのアナス・アル・シャリフは、ジャバリア難民キャンプの子どもたちがトランプ大統領のパレスチナ人トランスファー計画を拒否する映像を、自分のXアカウントにポストした。子どもたちはアル・シャリフの質問に答えて、「私たちは天国の神様のところに行くことはあっても、ガザを出て他の国へ行くことはしない」と語った。

*アル・ジャジーラ:中国は今日の国連安保理の非公開会議でガザ問題を取り上げる意向を安保理メンバー諸国に伝えた。情報筋によれば、昨日安保理中国代表がガザに関する状況の展開を心配するアラブ諸国の大使の話聞いた。

*イスラエル・メディア:イスラエルのギデオン・サール外務大臣はヨーロッパ諸国の大使に、ハマスが15日までに人質を解放しなければ、ガザ戦争を再開すると語った。ガザ停戦と捕虜交換は、ネタニヤフ政府が第二段階の合意事項の実施を遅らせ、新たな条件を提示したために、新たな問題に直面している。このためハマスは、10日に、15日に予定されていたイスラエル人質の引き渡しを、ネタニヤフの新条件提示とイスラエルの過去数週間の停戦違反行為への代償として、先延ばしを発表した。

*パレスチナ・メディア:イスラエル占領軍は西岸地区のいくつかの町を襲撃、破壊と逮捕を行った。我々が確認できたところでは、カルキリヤの東の町アズン、ヘブロン南の町アッダーヒルヤ、トゥルカレムの東の町アナブタとラーミン、ナブルスの南の町アワルタとベイタが攻撃された。

2月12日 12:57am

*アル・アクサTV:イスラエル占領軍がエルサレム東の町アブ・ディーの民家に向けて音響爆弾を発射した。

*アル・ジャジーラ:エジプトの外務大臣は、エジプトはパレスチナ人がガザに留まれる形のガザ再建案を提示すると発表した。

*ヨルダン国外務省:我々はパレスチナ人の強制移住を伴わない公正で包括的な和平を願っている立場であることをトランプ大統領に伝えた。トランプ大統領の米国のカザ管理とパレスチナ人強制移住の提案は、世界を植民地時代に戻すものだ。我々は、パレスチナはパレスチナ人のもの、ヨルダンはヨルダン人のものであると、トランプ大統領に伝えた。

*タイムズ・オブ・イスラエル:「米政府はイスラエルが2月18日に期限を再設定した南レバノンからの撤退を守ることを要求した」と米政府高官が言った。

*ヨルダン国王アブドゥッラー2世:私は今ホワイトハウスでトランプ大統領と建設的な会談を終えたところだ。私たちはヨルダンと米国の二国間の強いパートナーシップを話し合った。二国間の協力とそれが安定、平和、相互安全にとって重要であることを話し合った。私はヨルダンの利益、安定、国と国民を守ることが私が最優先していることだと話し、パレスチナ人をガザと西岸地区からトランスファーすることに反対するヨルダンの姿勢を伝えた。

2月11日 11:26pm

*アハラム・オンライン(アル・アラビーヤを引用):エジプト大統領アブドル・ファッターフ・アッシーシーの米国訪問が無期限に延期された。

2月11日 10:50pm

*トランプ米大統領:私はガザに関してヨルダンのアブドゥッラー2世国王と素晴らしい話し合いをした。

*ヨルダン外務省:アブドゥッラー2世国王は、ヨルダンはパレスチナ人のヨルダンへの移住を認めないとはっきりトランプ大統領に伝えた。

² 2002年のベイルートのアラブ首脳会議、そして2007年リヤドのアラブ連盟サミットで再確認された和平案。

*アブドゥッラー2世：私はヨルダンの利益、安定、国と国民を守ることが私が最優先していることだと話し、パレスチナ人をガザと西岸地区から移転させることに反対するヨルダンの姿勢をトランプ大統領に伝えた。

*チャンネル13：閣議で安全保障担当の官僚が、人質の危険を招くとして、ネタニヤフの強硬姿勢に反対したので、緊張した会議となった。

*アル・カッサム旅団：我らの戦士が西岸地区のヌール・シャムス難民キャンプのマンシーヤ地区で機関銃でイスラエル軍と戦闘した。

*ハマス（アル・ジャジーラの取材で）：我々はガザ再建の名目でパレスチナ人をガザから移転させるトランプ米大統領の計画を断固拒否することを再び断言する。トランプの発言は人種差別で、民族浄化を呼びかけるもので、パレスチナの大義を蹂躪し、我々の不可侵な民族的権利を否定するものだ。我々をガザから追放する計画は成功しないばかりか、民族を移転させるあらゆる策謀を否定するパレスチナ人、アラブ人、イスラム教徒の統一抵抗に直面するだろう。

2月11日 9:18 pm

*トランプ：ハマスは人質全員を15日までに解放すべきだ。さもないとどんなことになるか分からないぞ。

*アブドゥッラー2世：我々はエジプトが何らかの計画を提示するのを待っている。ヨルダン王国は2000人のガザの病気の子どもたちを受け入れて、治療する。エジプトのほかにもアラブの国々からガザ情勢に対する対応が出てくるであろう。アラブはトランプのガザ計画に対応するであろう。

*ハアレツ：情報筋によると、トランプの中東特使スティーヴン・ウィトコフが今日遅くにイスラエルに到着する。

*ネタニヤフ：ハマスが15日正午までに人質を解放しなければ、軍はガザへ戻ってハマスを完全に叩きのめす集中的戦争を行うだろう。

*ロイター電：イスラエルの西岸地区併合について質問されたトランプ米大統領は、それは成功すると答えた。

2月11日 6:52 pm

*イスラエル・ハヨム：消息筋によれば、小規模閣僚会議は停戦合意の第二段階の枠組みの新設定とガザ住民の移住案を承認した模様。

*ドイツのアンアナレーナ・ベアボック外務大臣（アル・ジャジーラの報道）：イスラエルと米国は合意の第二段階の実施に移るように全力を尽くすべきだ。

*ガザ市：イスラエル軍はガザ市最大の雨水貯留池であるシェイフ・ラドワーン池施設を大きく破壊した。

*アル・ジャジーラ：情報によれば、イスラエル占領軍は西岸地区トゥーバの南のアル・ファラア難民キャンプの数軒の家をブルドーザーで解体し始めた。

2月11日 3:03 pm

*アル・ジャジーラ：情報筋によれば、イスラエルは合意された人道議定で定められた1日に50台の燃料トラックがガザに入ることを妨害している。定められた量の50%しかガザに入っていない。また、人道議定で明記されているにもかかわらず、市販燃料の搬入も阻止している。

*チャンネル7：捕虜交換の実施を要求するデモ隊が閣僚会議が開かれているネタニヤフ首相府に入ろうとした。

*ベザレル・スモトリッチ財務大臣：トランプの計画は単なるスローガンではない。ガザはイスラエル領として戻ってくるだろう。

*チャンネル12：ネタニヤフ首相はレバノンからの軍の撤退期限をもう一度引き延ばすようにトランプ大統領に要求し、レバノン国軍がヒズボラの停戦違反に対処していない証拠を米国に示した。

*アル・ジャジーラ：情報によれば、イスラエル占領軍は西岸地区のトゥルカレムで救急車を引き留め、救急隊員を尋問した。

*チャンネル12：ネタニヤフ首相は小規模閣僚会議に先だって専門家との安全保障協議を行った。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラの特派員によれば、ガザ市南西部のアル・ラシド通りで北部へ帰る避難民を乗せた自動車をイスラエル軍ドローンが攻撃した。

³ ネタニヤフは戦争や外交に思う通り迅速に対応できるように自分の気に入った人物だけの小規模な閣僚フォーラムを設けている。

2月11日 12:10 pm

*イスラム聖戦運動：イスラム聖戦は西岸地区におけるイスラエルの襲撃、家屋や農地の破壊、道路封鎖、パレスチナ人の強制的トランスファーなどの「恐るべき」犯罪を非難した。

*ガザ保健省：イスラエルは意図的にパレスチナ人患者がエジプトで治療を受けるためにラファ検問所を通るのを妨害している。今日150人が申請したにもかかわらず、通過を許可されたのは僅か53人であった。

*国連事務総長：ガザで再び戦争が始まれば「大悲劇」となるだろう。両者は停戦合意を全面的に守り、真剣に交渉を再開すべきだ。

*カン：閣僚会議が開かれる前に首相府前に抗議デモ隊が集まり、捕虜交換の実施を要求した。

*イスラエル国家安全保障会議元議長ジオラ・アイランド：イスラエル人質を取り返さなければならないことは、イスラエルが戦争で敗北したことの証明だ。ハマスが人質の釈放を拒否できること自体が両者の力のバランスを物語っている。イスラエルはハマスをせん滅できなかつたし、入植者の安全を回復できなかつた。

*PFLP：PAのアッバス大統領がイスラエルに捕らえられている囚人や殉死者の家族への給付金支払いを止めたのはイスラエルと米国の圧力に屈したことだ⁴。これは民族の権利をあからさまに蹂躪する行為だ。

*イラン国大統領：人民を故郷から追い出すのは間違っている。女性や子どもを爆撃する者は人権を語る資格がない。

*イエディオト・アハロト：イスラエル軍は西岸地区入植地に装甲兵隊輸送車を展開した。これは10月7日と同じような奇襲に備えての用心である。

*イスラエル・ハヨム：イスラエル人質の家族集団は、合意の実行を求めて、エルサレムの通ずる道をブロックして抗議している。停戦を守ってこそハマスは人質を解放する。合意を忠実に実行する以外に道はないと、家族集団は主張している。

*ヤイール・ラピド：ネタニヤフよ、ドーハへ行け。人質を取り返せ。もう時間はないぞ。

*イスラエル軍ラジオ放送：ネタニヤフ首相は合意の実行を止め、第二段階へ進むのをやめた。第二段階がないなら、ハマスが人質を我々に渡すはずがない。我々は交渉で決まったとおり行動せよと、首相府に抗議する。

*イタマール・ベン・グヴィル：トランプは正しい。我々はすぐにハマスを壊滅に動くべきだ。トランプは15日までに人質全員が解放されなければ、停戦のキャンセルを呼びかけると言った。

⁴ アッバスがPA囚人・殉死者支払いプログラムの破棄に署名したことをトランプが歓迎すると言い、EU使節も同じことを言った。